

博士課程教育リーディングプログラム 平成28年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
機関名	東京農工大学	全体責任者（学長）	松永 是
類型	複合領域型（環境）	プログラム責任者	國見 裕久
整理番号	H01	プログラムコーディネーター	千葉 一裕
プログラム名称	グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院の創設		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本学では、博士人材に対する社会の強いニーズに応える実践科学リーディング大学院を創設し、生命の源である「食」に関する地球規模での究極的な課題に挑戦し、食の生産性やエネルギー依存形態を変革する構想力と「実践力」を備えた国際的なリーダーを養成することを目標とし、「リーディングプログラムとしての新たな学位プログラム」を導入し、以下の人材養成の目標を達成すべく体系的に教育を行う。

- ・ 高度な実践型研究人材として、食料、環境、エネルギーの相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦できる。
- ・ 複合領域に跨がる広い専門分野の人材を統率してチームを作り、コミュニケーション力をもって国際社会で活躍できる。
- ・ 目標実現に向かって自らの洞察力で見出した課題について、強い意志で挑戦・実行・完遂できる。

本プログラムは全学的な大学院教育改革構想に基づき、全学的な融合領域としての大学院新専攻（食料エネルギーシステム科学専攻）を、生物システム応用科学府（BASE）を責任部局として設置し、新専攻の設置に伴う教育研究スペース、施設等を大学の責任の下で完備させた。また、海外機関との連携教育、海外大学からの学生の招聘、支援スタッフの雇用等について、大学独自予算により実施する。

当該専攻の教育は、国内外から第一線の教員を招聘すると共に、全学から厳正な審査によって選出された、教育理念を共有する意欲的な教員が参加し、全学の大学院研究科に当該リーダー養成プログラムを波及させる。

2. プログラムの進捗状況

平成28年度は、教育プログラムの継続的な運用体制を構築するため、平成27年度に設置した、大学院生物システム応用科学府に5年一貫制博士課程の「食料エネルギーシステム科学専攻」（入学定員10名）に加え、既存の専攻に所属する学生が当該プログラムを受講できる体制（定員10名）を構築した。それに伴い、学内の運営体制の整備、学生の研究力推進のための海外派遣等の制度構築、外部連携機関担当者等からの意見も参考にした教育カリキュラムの見直し、授業内容等の企画・準備を行った。すなわち全学から選出された選考委員による選考試験を実施し、食料エネルギーシステム科学専攻の入学選抜試験を引き続き実施するとともに、プログラム受講生の募集および選抜試験を実施した。さらに、リーディングプログラムを全学に展開するために、プログラム生だけが入学する食料エネルギーシステム科学専攻に加え、全学全専攻の学生の中から選抜されたプログラム学生が、所定の課程を修めることにより、リーディングプログラム修了生としての認定ならびに博士學位記に修了生であることを併記する体制を整備し、当該制度の全学への波及、定着を推進した。プログラム学生に対する奨励金を継続的に支給するため、指導教員が獲得した外部資金の一部について審査を経て奨励金とすること（JIRITSU制度）、ならびに教育目的の基金獲得を促す全学的な体制を整備した。